

# なでしお

No.58 March 2024



授業風景（図工室）

2023 年度  
年主題「いのち」

CONTENTS

メッセージ……………	2
頌栄短期大学	
学務部・奨学生委員会……………	4
入試課 / 進路支援 /	
地域連携委員会 / 図書館……………	6
頌栄幼稚園……………	8
頌栄会（頌栄保育園ほか）…	9
同窓会 / 乳幼児研究所ほか…	10
寄付について……………	11





頌栄保育学院 理事長・院長  
相澤 弘典

世界は  
保育で  
できている

こんな言い方したら驚かれるでしょうか？

頌栄での働きが与えられて、5年目になろうとしています。このことを日々実感しています。

わたしたちの人生には必ずと言っていいほど「保育」された時間があります。わたしたちの人生の基盤となる大切な部分には保育がある。みなさんの子どもの頃の思い出はどんな記憶がありますか？保育者との思い出、友だちとの思い出、様々な行事の思い出：一つ一つがわたしたちを形づくっています。わたしたちは保育でできているのです。

そしてそんな人間たちが集まっている世界です。当然、この世界も保育でできているのです。

そう考えると創立して134年間、保育者養成の働きを担い、地域の保育を担ってきた学院は、この世界を造り続けてきた学び舎であると言えます。わたしたちは保育を通じて世界をつくってきました。

わたしたちの保育によって、わたしたちの教育によって、この世界はつくられています。このことに誇りと喜びと共に責任を強く感じます。

これからも頌栄が、保育と教育を通じて世界をつくる働きを担い続けることができるよう力を尽くしたいと願っています。

そして、この使命をより多くのみなさんと共有し、歩みを共にしたいと心から願っています。



頌栄短期大学 学長  
関田 良

希望のうちに  
新たな歴史を  
刻んで

2023年度より学長を拝命いたしました。4月1日の就任式では、讃美歌21の419番「さあ、共に生きよう」の歌声に包まれ、相澤院長のメッセージをお聴きし、不安で押しつぶされそうになっていた心に大いなる勇気をお与えいただきました。そして頌栄が試験の時を迎えるなか、学内外の皆様より様々にお支えいただき、教育共同体として共に生き、ひとつになって新たに歩み出すための備えの1年となりましたことを心より感謝申し上げます。

少子化、四年制大学志向の強まり、保育職希望者の減少等の影響で、保育の単科短大として、本学は苦難のなかにあります。「わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むことを（ローマの信徒への手紙5・3b〜4）」。「重責を担う日々において、このみことを思い起こさない日はありません。27年前、私

が頌栄に赴任してまもなくのある礼拝の奨励で、故・高道基名誉教授が語ってくださった言葉が身にしみて思い出されます。この聖書にある「忍耐」は日本語の響きで受け取られる、黙って辛抱しているだけというのではなく、原語の「ヒュポモネー」が意味する「固く立って進む」ということであり、意志がしっかりして物事に屈しないこと、勇気をもつということまでが含まれているというのです。私たちは今こそひとつになつて、忍耐の歩を進めることが求められています。

2023年度は建学の精神を土台として新たに「育てたい学生像」を次のように明示いたしました。①子どもを愛し、一人ひとりの思いを大切にすること②主体的に学び成長を重ね、変化する社会に応じて発信する人③相互理解の輪を広げ、自分らしく輝ける人。本学を巣立つ学生が、人々に仕え働きかけていく練達を確信し、やがて子どもたちや地域の暮らしの希望をつくりだす存在となりますよう祈りつつ、新しい歴史を共に刻んでいきたいと願っています。



頌栄保育学院 宗教主事  
水島 祥子

## AIには できない 神の業への 参与

づくりは天地創造の神さまの業に繋がる素敵なことだったのだ」と思う瞬間がありました。

わたしはモノづくりが好きで、幼少期から様々なものを作り散らかしてきました。刺繍や編物などの布小物は祖母・母に、電池で動く玩具や紙の工作は祖父と一緒に作ってもらいました。平面でのお絵描きより、立体になるブロックや粘土遊びが好きでした。形になる過程を楽しんでいたように振り返ります。

大人になった今でもその思いは続き、縮緬のつまみ細工や革細工など先生がいると習いに通い、聖書・賛美歌カバーやブローチなど今でも普段使っているものもあります。

わたしが進路を決める際、好きなモノづくりは趣味でできるので、もっと普遍的な、一人ではできないことに挑戦したいと思い始めました。家政学と神学を学びながら教会へと通い続け、あるときふと「モノ

教会も学校も、広くは社会教育の分野です。「人を育てる」のは神の業で、人間には到底できないことですが、節目には育ちを実感する嬉しい贈り物を神さまは用意してくださっています。保育も同じこと。神の業への参与を続ける日々の歩みのなかに、AIには成し遂げられない、子どもや保護者、保育者同士の魂が共鳴する喜びや楽しみがあるのです。

今までもこれからも、保育は人によって続けられていきます。子どもを育ててくださる神の業に参与しつつ、子どもとともに神に育てられる喜びを味わっていききたいものです。



頌栄幼稚園 園長  
厨子 直子

## ひかりの子と ともに

「かみさまにてらされ ひかりのこになった みえないけれど ちがったからものみんなもってる…」園歌を歌う子どもたちの優しい声で、頌栄幼稚園の2023年度がスタートしました。今年度4月より園長として就任し、その重責を担うこととなりました。

久しぶりに幼稚園現場にまいりますと、子どもたちのもつ力の素晴らしさに改めて感動を覚えます。母子分離に時間のかかった子どもがある朝、しっかりと挨拶をして振り向きもせず確かな足取りで保育室に向かう姿、2学期の礼拝では3歳児たちが真剣なまなざしでお話に心を傾けている姿、泣いている友達に遠くから駆け寄ってきて黙って傍に寄り添っている姿、等々、子どもたちの心の動きに、その成長に心温まる毎日です。

歴代の諸先輩方によって受け継がれてきたF・フレールベル氏とA・L・ハウ先生の教育理念や頌栄の心を引き継ぐ重みを感じながら、周りの方々にお支えいただき微力ながら次の時代を生きる子どもたちのために一生懸命に務めてまいりたいと思っております。

これまで短大の校舎の窓から見えていた幼稚園の景色が一転して、六甲山を背景に東にタイサンボク、西に大きなみみの木に守られた広い緑の芝生が美しく、自然に抱かれた子どもたちの園であることを改めて実感いたします。子どもたちがひかりの子として、豊かな自然から美しいものや神秘的ものを発見する喜びを味わい、主体となつてのびのびと遊びながら、幼児期ならではの様々な経験を積み、それぞれの宝物を輝かせてほしいと願っております。



■ 教務課より



今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、換気等の基本的な感染対策を継続しながらも、対面での授業とスケジュール通りの実習を実施することができました。学生が毎日大学に来て授業を受け、仲間や親しい友人と交流できる日常が戻ってきたことに、感謝と喜びを感じています。

本学のカリキュラムは、保育者として必要な理論的知識を土台に、在学中から実践力を高めることができるよう作られています。こうした学びを支える重要な取り組みとして、頌栄幼稚園、認定こども園頌栄保育園、認定こども園西鈴蘭台頌栄保育園と連携した

授業や実習があります。ここからは今年度、頌栄幼稚園の子どもたちと一緒に活動する時間をもつことができました。「基礎演習」の取り組みをご紹介します。

保育科1年次の「基礎演習」は、子どもや保育について課題意識をもち、その解決に向かって探究する力の基礎を培うことを目指した科目です。そのため「自分から学ぶ」主体性に加え、「他者の意見を尊重して学び合う」協働性を身につけられるよう、

今年度はゼミグループに分かれて授業を進めました。まだ実習に参加したことのない1年生でしたが、乳幼児期の発達を調べ、子どもの姿を思い描きながらあそびを考え、必要な道具をグ



ループで協力して作っていきました。数週間にわたる活動のなかで、計画通りに準備が進まなかったり、あそびの進め方やルールが定まらなかったり、

役割分担が曖昧になったりする様子がありました。自分たちで考え、意見を出し合い、決めていくことができるよう、教員は励ましたり見守ったりすることに徹しました。

そして、12月に迎えた頌栄幼稚園の子どもたちとの活動の日。学生は緊張した面持ちでしたが、自分たちがつくったあそびに子どもたちが生き生きと参加する様子に励まされ、精いっぱい子どもたちにかかわりながら活動を終えることができました。グループ活動のなかで感じた仲間がいる心強さと

一人ひとりのペースや思い、考えを尊重することの難しさは、これから実習を経て保育者となるうえで大きな意味をもつ経験になったと思います。次年度はこの「基礎演習」での取り組みを、地域子どもたちにも開いていくことを予定しています。そしてどの授業においても、学生一人ひとりがもてる力を発揮し、互いに学び合える経験をこれからも大切にしていきたいと考えています。

■ 学生支援課より

学生支援では、新たに図書館側入り口とピロティにベンチを設置しました。授業前や休憩時間に友人を待った



り、談笑したりする姿がみられ、単なる休憩場所ではない新たな居場所としての役割も果たしています。また、学生食堂も好評で、調理スタッフの方とのコミュニケーションも楽しみの一つとなっており、おいしい食事への感謝を伝える学生が何人もいるなど、食堂はいつも和やかな雰囲気にも包まれています。

学生生活の支えとして、学生相談室と休養室の存在は不可欠となっております。いずれも利用件数は増加傾向にあります。両室との会議や日常の連携を通して、実りある学生生活を送ることができるようきめ細かく支援をし、今後も学生が少しでも快適に安心して過ごせるよう、学内の環境整備に努めたいと思っています。

自治会活動の中心である頌栄祭は昨



年度の2時間開催という短縮バージョンから新型コロナウイルス感染症拡大以前の10時～14時に戻しての開催となりました。頌栄祭は保育科の学生ならではの子どもや親子を対象とした企画が多くありますが、前日まで準備を進めた学生たちには来場してくださった多くの方たちの楽しそうな姿と笑顔が何よりうれしかったようです。さらに、ハンドベル・クワイヤーや音楽研究会の演奏、ライブラリアードベンチャー部によるおはなし会、ダンス同好会によるダンスなどがあり、子どもたちも一緒に歌ったり、踊ったりしてくれました。同窓生の方々や幼稚園母の会の方たちによるバザーや模擬店も盛況で、14時にはほとんど売り切れとなり、学内全体が賑やかな一日となりました。

頌栄祭に参加したクラブや同好会をはじめ、運動研究会やアウトドア同好会など、学生たちは空き時間やお昼休みなどを上手く活用し、仲間との楽しい時間を過ごしています。今後も学生生活へのさまざまな支援を通して修学意欲の向上を図り、より充実した学生生活を送ることができるよう努めてまいります。

### ■ 奨学生委員会より

#### 2023年度奨学金関連のご報告

主な奨学金の選考・推薦状況について報告いたします。

本学独自の奨学金である「岡松枝記念給付奨学金」におきましては今年度も保育科1年生の成績上位者5名に給付し、加えて2023年度より創設さ



れました書籍助成制度「岡松枝記念書籍助成」に2名を推薦いたしました。

また、「報国積善会奨学金（岸本奨学金）」は保育科2年生14名、専攻科2年生1名を選考いたしました。「一般社団法人生命保険協会保育士養成給付型奨学金」は2023年度も推薦枠をいただき、保育科2年生1名を推薦、給付を得ております。さらに、「日本基督教団神戸教会給付奨学金」は保育科2年生3名、「アニー・L・ハウ給付奨学金」は保育科2年生2名、兵庫県および神戸市の「保育士修学資金貸付事業」は神戸市に1名を推薦いたしました。

今後もさまざまな支援を通して、修学意欲の向上を図り、より充実した学生生活を送ることができるよう支援してまいります。



■ 学生支援課（進路支援）より

今年度、多くの学生たちは就職フェアや園・施設見学へと出かけ、就職活動を進めていきました。進路資料室の壁一面に掲示している求人票を真剣な表情で見ている姿もよく見られました。

「新卒業生懇談会」では、新卒業生たちが会場となったチャペルのあちこちで友人や教員たちと近況を話していました。また、頌栄祭当日には進路資料室を「おかえりなさい！ SHOEI BREAK」として卒業生に立ち寄っていただける場を設けました。在学生に向けたメッセージも残してください、卒業生と在学生をつなぐ場のひとつにもなりました。

昨年度も6, 983名の保育職の求人を受けておりますが、何よりほぼ全員保育職に就くことが、地域社会に貢献する保育者養成校の証と感じています。1月以降は新たな学年に向けた就職フェアが開催されています。学生には進路ガイダンスとキャリア形成を目的とした授業の両輪で進めています。ミスマッチングが生じないように、教職

員一同きめ細やかな支援を進めつつ、頌栄での学びが卒業生と保育の未来につながるものであり続けたいと願っています。

卒業生の皆さんへ 再就職について

卒業生対象の求人は年間を通していただいています。再就職をご希望される方は、「卒業生再就職申込書」をホームページより出力し、学務部（進路）までご郵送ください。

再就職につきましては下記へお問い合わせください。

TEL : (078) 842 - 2542 (学生支援課) FAX : (078) 851 - 2154

E-Mail : sshien@glory-shoei.ac.jp

■ 入試課より

2024年度入学試験は総合型選抜入試、学校推薦型入試、指定校推薦入試、一般入試を行いました。総合型選抜入試が最も多い受験者数となりました。オープンキャンパスでは、高校生に学校見学や体験授業をはじめとする体験プログラムに参加いただきました。さらに、個別相談会や授業見学会、「クリスマス会の夕べ」にもご参加いただきました。

また、教職員による高校訪問に加え、2023年秋以降は在学生が出身高校を訪問し、学校生活の様子や今後の進路について報告しています。頌栄で保育を学ぶ魅力を伝えている様子や一回り大きくなった姿を見て、高校の先生方も喜んでくださっています。

2025年度入試に向けたオープンキャンパスは、2024年3月よりスタートしますが、本学らしくクリスマスオープンキャンパスも予定しています。詳しい時間やプログラム等の詳細は本学ホームページおよびInstagramでお知らせいたします。

今後のオープンキャンパス開催予定

2024年

6月16日（日）、7月13日（土）、  
8月10日（土）、12月21日（土）

2025年

3月8日（土）、3月23日（日）

2025年度入学試験の「入試要項・出願書類」と「大学案内」は2024年4月下旬より配布予定です。  
Instagramでは、学生の様子なども発信しております。ぜひご覧ください。

頌栄短期大学  
公式 Instagram



## 図書館

頌栄短期大学図書館の2022年度の利用状況は、図書貸出数が5465点（うち学生の貸出数が4,385点、2021年度に比べて505点増加）となっています。保育に欠かせない児童文化財である絵本や紙芝居などは、図書館を見学された方が驚かれるほど所蔵数が多く、実習に行く前には学生が子どもたちに楽しんでもらえるよう何冊も借りていきます。図書館では新刊図書の紹介の他、開架書架・閲覧室において絵本特集や季節の展示を継続して



行い、さまざまな蔵書や活用方法についての情報を発信し、学生の学修支援に努めています。また、図書館報では、教員の書籍紹介や学生の絵本紹介などを掲載し、図書館や書籍をより身近に感じて

もらえるような工夫もしています。蔵書数の多さゆえ書架の狭隘化という悩みはありますが、学生が活用しやすく、活用しがいのある図書館でありたいと思っています。



### お知らせ

学外の方の図書館利用は事前予約制です。来館をご希望の場合には、事前にお電話・メールにてお問い合わせください。

問TEL：(078) 842 - 7093（図書館直通）

E-Mail：toshokan@glory-shoei.ac.jp

## 地域連携委員会

7～8月にかけて高校生を対象に、保育講座を開催（神戸YMCAと連携）。保育に関する講義・製作・頌栄幼稚園での実習体験を実施し保育への興味を深める機会をもちました。夏休みには、東灘区協働課と連携し「子ども色々体験スクール」を開催。地域の子どもたちと紙コップを使った遊



びや製作を楽しむことができました。また、秋には黒崎史平先生による「自然観察会」を3年ぶりに開催。頌栄の中にある様々な植物や生き物に関する興味

深いお話に心をワクワクさせるひと時となり、時間を延長するほどの盛り上がりを見せました。

この他、2024年1月には阪神淡路大震災メモリアルハンドベルコンサートをベル・グローリーと学生のハンドベルクワイヤーとの合同で開催。2023年度は数年中止となった行事が復活でき、地域との交流の機会が増えました。今後もさらに充実できるよう活動していきたいと思





「わぁ〜」初めて来られる方は感嘆から始まる頌栄の自然。川沿いの門外からは中の様子は薄暗く映りますが、門をくぐると待っているのが竹の林。更に、きんもくせいの小道を登り中のうかがうと広大な芝生の園庭が広がります。

毎年楽しみにしている竹の子掘りや竹の子ご飯。簡単なクッキングをすれば美味しい香りが園内に漂います。4月、年長組は竹切りにも行きました。竹を切って父の日のプレゼントのペン立てを作る為です。教師と共にのこぎりで少しずつ切っていきます。倒れる時の「パキッ、メキッ」という音に子どもたちの「おお！」と言う声共鳴し心躍らせました。大きな竹は坂を滑

り落とします。その後ろから子どもたちも滑り降り、山を下るとすぐさま竹の上へ：竹はトランポリンのように弾みます。それを見る度に子どもたちも竹のようにしなやかに育って欲しいと思います。最後は皆で協力して「わっしょいわっしょい！」掛け声と共に園庭まで運んできました。身近にあるこの自然は子どもたちにとってとても貴重なものです。「ちよっと行ってみようよ」と、思い立ったらすぐに行けるのが頌栄幼稚園の裏山。日常の延長線上の、この「ちよっと」の身近さが保育を支えます。

今年も敷地内の自然でたくさんのお見がありました。階段で「朝、梅の実、見つけたよ」「きんもくせいの匂いがする!」「葉っぱの色が変わって



来た!知ってるで紅葉って言うねんで!」「冬芽が出てきてる!」特別に出かけるのではなく、自分たちの庭として繰り返し足を運べるからこそその気づきです。身近な自然から子どもたちは感受性に磨きをかけ、学びを深めているのだと思います。

また、年長から次の年長に毎年引き継がれたように始まるドッジボールは、今年も2学期存分に楽しみました。いつの間にか、今年の子どもたちならではの新しいルールが共有されています。一般的なルールにとらわれることなく、自分たちで話し合いルールを分かち合っていくので驚きのルールになることも珍しくありません。教師は少し遠目から見守っているのですが、今年度は何故か「手に当たるのはセーフ。身体はアウト。顔は絶対だめ」というルールを子どもたちで話し合っていて決まっていたようです。何とも不

思議なルールですが、子ども同士でしっかりと守り、盛り上がりつつありました。大人がよく分らない時間こそが子どもの世界が生き生きとしている瞬間であることが多くあり、面白い時間です。

さて、12月に聖劇(降誕劇)を行いました。5月の竹運びの時のように「わっしょい」と言葉にしくとも、心や気持ちを繋ぎ協力して素敵なクリスマス礼拝を迎えることができました。豊かな自然に関わって自分の思いをのびのび表現して過ごしている頌栄の子どもたち。同じクラスの子どもはもちろんのこと、年少年中組の子どもたち、さらに神様と心を合わせながらぐんぐんと竹のように伸びていく光の子です。(頌栄幼稚園 山田 洋介)







緑豊かな神戸鈴蘭台で、どの時代にも子どもを真ん中においた保育を大切に紡ぎ、今年で39年目をむかえます。ここ数年はパンデミックとなったコロナ禍を経験し、子どもたちにとっての安全安心な生活について改めて考える機会を与えられました。今年度は、行事も再開するなど、異年齢児との交流や職員と保護者、また保護者同士が集う機会を再びもつことができるようになり、保育園にも日常が戻る中で、人と人とのつながりの大切さやあたたかさを実感しています。

大変な数年ではありましたが、その過程で、主体性・多様性について改めて考える時となりました。日々の保育の中でも、現場の職員から、「こんな

時、子どもとどう関わったら良いのだろうか」「なぜ〇〇をするのだろうか」など、これまで当たり前にしてきたことの本質や意味を問うたり、疑問をもったりする声が増えたと感じています。そのすべての言葉や語り合いの根っこには、「一人ひとりのいのちを大切にしたい思い」が確かにありました。職員一人ひとりの悩み考える姿勢に、私自身学びをもらいながら、志をもった仲間と共にあることに改めて喜びと感謝を覚えます。保育園は、まもなく新年度を迎えます。子どもはもちろん、職員一人ひとりの成長も大切に、力と心をあわせて歩んで参りたいと思えます。

(認定こども園頌栄保育園

主幹保育教諭 大坪 磨依)



西鈴蘭台頌栄保育園は2009年に神戸市より民間移管を受け、2020年から認定こども園として運営しています。楽しそうな声が至る所で響き渡り、122名のこどもたちは神さまの見守りの中で、一人ひとりが小さな命を輝かせています。ハーブやサクランボの木などの緑豊かな園庭、西鈴蘭台のシンボルである茅葺小屋「わらぼうち」や登る、滑る、掘るなど大きくダイナミックに遊ぶことができる築山、子どもたちの興味や関心に応じて整えられている保育室の環境。安心できる「大きなお家」の中で、子どもたちの心の根っこは大きく育まれます。

移管当初は、目に見えるキリスト教保育は行うことができず、愛と奉仕の精神」を大切に保育を続ける中で、少しずつ保護者の理解も得て目に見える形として行うことができるよう

になりました。そして、昨年度には初めて降誕劇も行い、今ではクリスマスが近づくと子どもたちの優しい賛美歌が、イエス様の誕生をお祝いしています。今後も神さまに守られて、子どもたちと共に歩みを進めていきたいと思っています。

(認定こども園西鈴蘭台頌栄保育園

副主幹保育教諭 武田 亜矢)

社会福祉法人 頌栄会

- ・認定こども園頌栄保育園
- ・頌栄児童館
- ・認定こども園西鈴蘭台頌栄保育園
- ・南五葉児童館
- ・君影学童コーナー
- ・小規模保育園しょうえい



## 頌栄短期大学同窓会



頌栄同窓会は1900年に設立されました。キリスト教精神に基づき、母校の発展を援助し、会員相互の研修と親睦を図ることを目的としています。現在通信可能な同窓生は7,000人余り、全国に18支部を置き、それぞれの地で活動しています。

毎年5月同窓会総会後に勉強会を企画し、ハンドベル、ピアノの演奏会、障がい児教育、造形活動など講師をお招きして学んでいます。卒業生だけでなく、一般の方にもご参加いただいています。11月には頌栄祭協賛バザーを催し、同窓生の親睦



と近隣の方々と  
の交わりの場と  
共に、収益の中  
からワールドビ  
ジョンを通して  
チャイルド支援

に寄付していま  
す。大学に対し  
ては、ファミ  
リ入試など定  
期的な援助と、  
緊急時などその



時々に合わせた学生の学びを大切に、先輩方とも心を尽くし母校を支える活動をしています。

2年間の頌栄の学びを礎に今がある私たち。保育者を目指す高校生の方が一人でも多く頌栄へ入学してくださる事を願い「保育を学ぶなら頌栄で！！」と心を込めてお勧め致します。

同窓会のInstagramを開設しています。どうぞご覧ください。

頌栄同窓会 Instagram ▶▶▶



**専攻科（保育学専攻）募集停止のご報告**

2024年2月2日の理事会・評議員会にて、専攻科（保育学専攻）の2025年度以降の学生募集の停止を決定いたしました。詳細はホームページをご覧ください。

引き続き「頌栄の保育」と「頌栄の教育」の充実と発展のためにお祈りとお支えをお願い申し上げます。

頌栄保育学院 理事長・院長 相澤 弘典

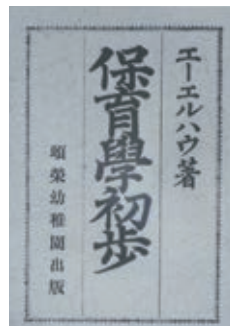
## 乳幼児研究所



乳幼児研究所は2023年8月25日に第28回保育セミナーとして「明日につながる保育者のためのケア—こころとからだを整えるヒント—」を開催いたしました。次年度も保育者の研修機会および本学のリカレント教育の1つとしてセミナーを開催し、地域に根づく保育者養成校として貢献してまいりたいと思っております。



加えて、本研究所ではハウ資料室に集められてきた書籍や史資料などの整理に取り組んでおります。頌栄に連なる資料や物品、特に中山手校舎時代の授業や幼稚園の様子をうかがうことのできる資料等につきまして、本学への寄贈をご検討いただければ幸いに存じます。







## 頌栄保育学院特定寄付金のご報告

みなさまのご支援、ご協力をいただき、2022年度の頌栄保育学院の特定寄付金は277件、2,059,825円（内、135周年記念特定寄付金147件1,532,825円、後援会130件527,000円）となりました。また、その他の寄付（現物寄付を含む）19件5,258,669円分をいただいております。感謝しご報告させていただきます。

なお、この特定寄付金は確定申告時の新申請により「特定公益増進法人」への寄付金として「所得控除」による税の減税を受けること、または「税額控除」による税の減免制度の適用を受けることのいずれかが可能です。

### 2022年度特定寄付金（135周年記念特定寄付金）ご寄付者一覧（敬称略）

青柳 京子	岡本 由紀子	社会福祉法人 頌栄会	日本基督教団	水野 雄二
赤尾 道子	沖野 秀子	社会福祉法人	松山教会	三谷 庸恵
秋山 富美子	奥田 郁子	福田保育園	日本キリスト教団	宮腰 節子
浅山 美根子	尾崎 良子	園長 福井千恵子	天満教会	前田 康子
安達 由紀	小埜 早茅子	杉浦 尚子	能見 さと子	宮田 智子
阿部 典穂	尾原 暎子	杉田 尚子	野口 啓子	村上 博子
荒木 幸代	梶木 和代	妹尾 京子	はせがわ耳鼻咽喉科	村田 徳子
池永 順子	片野 恭子	藪浦 穂波	クリニック	森 孝一
石井 恵子	加藤 雅代	高橋 喜代子	秦 智恵子	森澤 典久
石倉 悦子	角谷 淳子	竹内 千尋	花井 進	森本 智美
石坂 静香	紙屋 直美	竹村 宣子	林 典宏	安福 未果
市田 三津	片山 富美子	辰馬 敏子	原 和美	矢内 幸子
井上 泉	川勝 弘子	田中 泰子	原宿幼稚園	柳田 陽子
井上 裕子	川越 千世子	谷口 耀子	日笠 由香	山口 澄子
上林 順一郎	川淵 千鶴子	谷田 悦子	平川 淳子	山口 昌子
牛見 晋太郎	北川 加寿美	谷本 月子	白根 八重子	山路 喜代子
内橋 美世子	黒崎 史平	竹本 美恵子	廣瀬 勢生	山根 孝子
内海 満子	黒瀬 美佐子	田村 美里	広本 雅子	山本 剛士
梅畑 和子	郡 奈美	鶴川 政代	福井 恵子	山本 武尊・奈都子
浦井 眞知子	小久保 紀子	東郷 るり子	藤井 貴美子	八幡 右子
遠藤 勇司	児玉 紘子	當谷 有平	藤田 葉子	行本 まゆみ
合瀬 徹	小松 熙子	頭根 政子	藤田 裕子	吉井 みちよ
大谷 節子	小山 明子	中谷 悦子	藤本 重美	吉川 聡子
大塚 菊子	近藤 喜美子	中谷 明子	藤本 理恵子	吉澤 恵
大西 厚美	佐古井 久仁子	中西 千洋	増本 操子	吉田 啓子
大西 美佳	佐々木 喜久子	中野 篤子	松澤 かず子	渡辺 順子
大西 玲子	志甫 正子	那谷 久美	松下 倫子	(匿名希望者)
岡 清秀	島田 和美	南部 千歳	松本 知子	
岡部 裕子	清水 嘉津子	西垣 光代	的埜 淳子	
岡本 裕子	地道 典子	西村 良美	西村 恵子	

## 学校法人頌栄保育学院

# 創立 135 周年記念特定寄付金の募集についてのお願い

豊かな保育があると、まちは豊かになる。

アメリカ人女性宣教師 A. L.ハウ（Annie Lyon Howe 1852－1943）によって、1889年10月（明治22年）に保育者養成校「頌栄保姆伝習所」、さらに同年11月に頌栄幼稚園が開設されました。

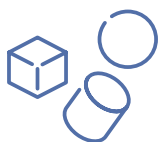
頌栄保育学院は、2024年10月に創立135周年を迎えるにあたり、以下の取り組みをいたします。

### 地域に開かれた図書館



明治期の貴重な図書から最新の保育・幼児教育の専門書まで、約11万冊を所蔵。絵本15,000冊、紙芝居1,400組以上のほか、パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、大型絵本など多数。子どもたちに、地域の方々に開かれた図書館としてさらに発展していきます。

### 創設者ハウ及び保育・幼児教育の歴史研究



「頌栄の歴史」は「保育の歴史」です。本学創設者 A. L.ハウ及び明治期を含めた保育・幼児教育の貴重資料を整備し、学内外の研究に寄与し、今後の保育・教育、卒業生支援に還元していきます。

### 快適な学びの環境整備



防災機能強化、食堂の改修、空調・ICT設備更新など、教育基盤の再整備の推進を行い、子どもたちと学生の生活の安全・安心を守ります。

### 豊かな自然の活用



六甲山のふもとで、大阪湾が一望できる恵まれた自然環境を保育・教育に活かしてきました。今後さらに、幼稚園と短期大学のカリキュラムにも反映させ、また地域の方にもイベント等を通して触れていただけるよう、安全管理に努めながら整備を進めます。

わたしたちは、保育の質を向上させることがよりよい未来につながると信じ、幼児保育と保育者育成に取り組んでまいりました。

現在、少子化に伴う保育系短期大学の学生数減少や、保育現場での深刻な保育者不足が問題になっています。社会全体で保育への関心を高めることが必要です。

一筋に保育の質の向上を目指す頌栄保育学院の歩みをお支えくださり、共に未来を描いていただきたいと思います。

お振込先

ゆうちょ銀行 00949-5-244462  
池田泉州銀行 住吉御影支店 普通 109237  
学校法人頌栄保育学院

詳細は、寄付に関するページをご覧ください。  
頌栄短期大学 Webサイト



学校法人頌栄保育学院  
頌栄短期大学  
頌栄幼稚園

社会福祉法人頌栄会  
認定こども園頌栄保育園 認定こども園西鈴蘭台頌栄保育園  
小規模保育園しょうえい 南五葉児童館 頌栄児童館 君影学童コーナー